

大会宣言

日本国民はいま安全を脅かされている。憲法や教育基本法の「改正」、日米安保の世界規模での再編、規制緩和、民営化など、国民に対して十分な説明もなく、国民生活を脅かす体制作りが着々と進められている。これらの危険性を明らかにし、対案を提示するために科学者の冷徹な視点が重要であり、目的意識的に事象を解明し、平和と人類の福祉に成果を役立てることを追求する科学者の団体である日本科学者会議の役割は一層大きい。第37回定期大会は日本と世界の危機的な、しかし、よりよい社会実現の可能性が見える状況のなかで開かれた。日本国民がよりよい道を選択できるように、大会は以下のような取り組みを行うことを宣言し、分析、批判や発言の力量を強め、国民的な運動の発展に貢献することを誓った。

1. 人類の生存と平和的繁栄のために研究を行い社会へ働きかける
 - 1) 研究活動の成果を第16回総合学術研究集会2006年12月1-3日、東京で発表する。
 - 2) 支部による研究・普及活動を進め、会員が参加する機会を増やす。
 - 3) 会の研究委員会を活性化し、支部の研究活動を含めて、相互の交流や協同を進める。
 - 4) 日本国憲法・教育基本法を守る運動、核兵器廃絶のための運動、地球環境を守る運動に貢献する。原水爆禁止世界大会の関連企画である科学者集会を8月1日神奈川県で開催する。
 - 5) アジアの科学者との連帯を深め、国連のNGO資格を得る。
 - 6) 会誌『日本の科学者』の発行や出版活動によって研究成果を普及する。
2. 高等教育と科学・技術の真の発展のために発言し行動する
 - 1) 法人化後の地方国立大学の危機的状況をはじめとした高等教育の現状を把握・分析・評価し、的確な政策的対案を提示する。
 - 2) 「研究者の倫理綱領」「研究者の権利・地位宣言」の内容を練り上げ、会内外の広範な研究者の声を反映する。
 - 3) 第3期科学技術基本計画を批判的に検討し、具体的な提言を行う。
 - 4) 大学・大学院の種別化の政策に対する批判的提言を行う。国公立試験機関や民間企業での研究者の全国的な交流を強める。
 - 5) 女性研究者、技術者間の交流を促進し、女性研究者を含めた科学者の権利や地位を守る運動を発展させる。
3. 会員が集まる場を作り議論し行動する
 - 1) 職場や支部、分会で会員が交流する機会を設け、会員が科学者としての自覚を高め、問題意識を共有することを目指す。
 - 2) 支部の運営や企画立案に、多くの会員が参加できるような活動スタイルをつくる。
 - 3) 科学的精神をもった青年や科学者運動の継承者を育成する観点から若手研究者の交流や活動を積極的に支援する。
4. 活動を活性化し会の存在意義をさらに発揮するために、組織体制・実務・活動スタイルを改善する
 - 1) 支部の運営・実務体制の合理化を進め、活動の重点化を図る。
 - 2) 研究者に会への参加を広く呼びかけ、科学者の社会的責任を自覚した研究者を拡大する。
 - 3) ITツールを実務や成果の発信、会員間の交流に活用する。

2006年5月28日

日本科学者会議第37回定期大会